

クラス番号	634	担当教員名	天池洋介
テーマ	若者の労働と生活の支援 -若者による若者のエンパワメント-		
著書・論文 研究課題 等	<p>論文：「スウェーデン労働組合の経済政策」『日本福祉大学社会福祉論集(130)』（2014） 「労働組合における〈場〉の機能 -共存型居場所による多様性のある労働組合の展望-」 『社会文化研究 第17号』（2015） 「アイスランドの教育制度と1990年代の教育改革-グローバル化への対応と福祉国家の維持-」 『日本福祉大学子ども発達学論集（11）』（2019）</p> <p>研究課題：北欧の社会政策、福祉国家制度の研究、労働市場における若者のエンパワメント</p>		

ゼミナール概要

キーワード：仕事、労働、就職活動、労働組合、若者、カルチャー、居場所、共同、社会的起業

<目的>

若者が元気に働いたり、自己実現するにはどうしたらいいのか考えます。若者が力を発揮している分野や場所では「好き」と「得意」が欠かせません。「好き」と「得意」を活かして、広めることで若者をエンパワメントし、居場所をつくり、組織化することで、社会問題を解決する力を得る方法を考えます。また、みなさんの「好き」と「得意」を様々な形で応用できるように、とことん極めてもらいます。

<内容・授業計画>

3年の前期では人を励ますコミュニケーション方法や、人と人と結びつける方法、安心できる居場所づくりについて学びます。自分の「好き」や「得意」を突き詰めて考えてもらい、社会問題解決への応用の可能性を考えます。実践の場として、「アルバイト相談会」もしようかなと思っています。

3年の後期では、前期で学んだことを実際の若者の状況に適用し、「好き」や「得意」を活かすための、共感による若者支援の方法について考えます。また、その応用事例として「ブラックバイト予防キャンペーン」を考えたいと思っています。また卒業論文執筆のための準備もします。

4年は卒業論文を書きます。卒業論文は、自分の興味のあるテーマを自分で探して、とことん追求して考え、客観的な資料で裏付けて、わかりやすく伝えてもらいます。

<方法>

グループ・ディスカッションとグループ作業が中心です。自主学習と共同作業を両輪として進めていきます。

本ゼミの研究対象は皆さん自身、皆さんの日常生活です。マンガや雑誌、音楽や動画、おしゃべりやバイトなどが研究対象です。皆さんが何気なく過ごしている日々を理論的・客観的にとらえ、課題を抽出していきます

担当教員からのメッセージ



エントリーシートには、1) 今の若者の抱える困難と今の若者の良い点、2) 自分の好きな音楽やファッション、マンガ、スポーツなどについて、その理由も含めて「熱く」書いてください。連絡先にはメールアドレスも記載してください。質問があったら、メールでお願いします。

オリエンテーションやゼミ見学、あるいは個別相談に「必ず」参加してください。

「楽なゼミ」ではなく、「楽しいゼミ」にしたいと思っています。いろんな人と話し合い、学びあい、共感しあって、クオリティの高いものを作り上げていく。そんな楽しい経験を自信に変えて、社会に乗り込んでもらいたいです。